学校番号	3017

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
校内名称	保健			ユニット数	1	必選別	必修
使用教科書	現代高等保健体育　　大修館書店						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

科目「保健」は、生涯を通して健康を考え、健康を確保することでさまざまな自己実現が図られる生活の根幹を成す科目だと考えます。我が国の疾病構造や社会の変化に対応し健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かして健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び健康的な社会環境づくりをおこなうことの重要性の理解が必要です。成長期の今、自分自身の将来の健康を確保するための知識を習得し、その知識を生かすための実践力を身につけること、それが日々を快適に過ごしていくために必要なことを学びます。

学習方法については、「現代社会」「人の生涯」という観点から、課題を探し現状を把握しながら問題を解決していこうとすることで、自らの成長や日々の暮らしに役立てていってほしいと思います。知識の習得のみにとどまらず、課題を解決していく方法を、地域や社会の中から探す力を育成するためにホームページ・新聞などから「健康に生きる」ための情報を活用します。ただ聞くだけ、板書を書き写すだけの受身の授業ではなく、自ら関心を持って情報を集め議論できる姿勢をもつことが大切です。また、ノートのまとめ方は、教科書中心ではあるが板書だけでなく、自分なりに工夫をしてまとめていきましょう。

2　学習の到達目標

①健康・安全について理解する。
②健康問題の解決方法を身につける。
③生涯にわたる健康の保持増進の基礎を身につける。
④健康の保持増進のための実践力を身につける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a ：関心・意欲・態度	b ：思考・判断	d ：知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	・授業態度 ・小テスト ・ノート提出 ・ディスカッション等の事例を用いた活動 ・実習　等	・定期テスト ・小テスト ・ディスカッション等の事例を用いた活動 ・ロールプレイングによる班別発表等 ・実習 ・成果物　等	・定期テスト ・小テスト ・ディスカッション等の事例を用いた活動 ・ロールプレイングによる班別発表等 ・実習 ・成果物　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点80％程度、平常点20％程度です。

4　学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	主な評価の観点 b	主な評価の観点 c	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期中間考査まで	現代社会と健康	1　私たちの健康のすがた	○		○	a:健康の考え方と成り立ちについて、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動や健康に関する課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:健康の考え方と成り立ちについて、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。また、学習したことを個人及び社会生活や事例などと比較、分類、分析等をしている。 c:健康の考え方は国民の健康水準や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の元に成り立っていること健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることについて理解し、健康の保持増進のために調和のとれた生活を実践する必要があることを発言、記述したりしている。	・ノート ・成果物
		2　健康のとらえ方		○	○		
		3　健康と意志決定・行動選択	○	○			
		4　健康に関する環境づくり	○		○		
		5　生活習慣病とその予防		○	○		
		6　食事と健康	○	○	○		
		7　運動と健康	○	○	○		
		8　休養・睡眠と健康	○	○	○		
前期期末考査まで		9 喫煙と健康		○	○	a:健康課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:学習したことを、個人及び社会生活や事例などと比較、分析、評価したりするなどしている。また道筋を立ててそれらを説明している。 c:様々な課題が与える影響は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから個人や社会への対策が必要であること、感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて理解したことを発言、記述したりしている。	・ノート ・成果物 ・ロールプレイングによる班別発表等
		10 飲酒と健康		○	○		
		11 薬物乱用と健康	○	○	○		
		12 現代の感染症		○	○		
		13 感染症の予防		○	○		
		14 性感染症・エイズとその予防		○	○		
後期中間考査まで		15 欲求と適応機制	○		○	a:精神の健康について資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動や課題の解決に向けての話合いや意見交換、体験活動などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:精神の健康について資料等で調べたことを基に、整理したり、自分の考えを導き出し、道筋を立ててそれらを説明したりしている。また、学習したことを個人及び社会生活や事例と比較、分析、評価している。 c:精神と身体には密接な関連があること精神の健康を保持増進するには、問題に適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることについて理解したことを発言、記述したりしている。	・ノート ・成果物 ・ディスカッション等の事例を用いた活動
		16 心身の相関とストレス		○	○		
		17 ストレスへの対応		○	○		
		18 心の健康と自己実現		○	○		

後期中間考査まで	現代社会と健康	19 交通事故の現状と要因 20 交通社会における運転者の資質と責任 21 安全な交通社会づくり	○	 ○ ○	○ ○ ○	a:交通事故に現状、交通社会で必要な資質と責任について、資料をさがしたり見たり、読んだりする学習活動や、安全な社会作りや課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:交通事故の現状、交通社会で必要な資質と責任、安全な社会づくりについて資料等で調べたことを基に、整理したり、自分の考えを導き出し、道筋を立てて説明したりしている。また、学習したことを個人及び社会生活や事例と比較、分析、評価している。 c:交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などが関わること、交通事故には責任や補償問題が生じることについて、理解したことを発言、記述したりしている。	・ノート ・成果物 ・ディスカッション等の事例を用いた活動
後期期末考査まで		22 応急手当の意義とその基本 23 心肺蘇生法 24 日常的な応急手当	 ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:応急手当、心配蘇生法について、資料をさがしたり見たり、読んだりする学習活動や、安全な社会作りや課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:応急手当、心配蘇生法について資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。また、学習したことを比較、分類、分析等をしている。 c:適切な応急手当は生涯や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には正しい手順や方法があるということ、心配蘇生等の応急手当は生涯や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて、理解したことを発言、記述している。	・ノート ・成果物 ・ディスカッション等の事例を用いた活動
	生涯を通じる健康	1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	a:思春期と健康、結婚生活と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:思春期と健康、結婚生活と健康について学習したことを、個人及び社会生活や事例などを比較、分類、分析したりするなどをしている。 c:生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解したことを発言、記述している。	・ノート ・成果物 ・ディスカッション等の事例を用いた活動

※　表中の観点について　　a ：関心・意欲・態度　　b ：思考・判断　　c ：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。